

ON-DEMAND COURSE

ホルムズ海峡と 日本のエネルギー 資源輸送

日本は原油・天然ガス等のエネルギー資源を輸入していますが、原油の90%以上を中東に依存し、海運が輸送を担っています。



このコースについて

1953年、原油タンカー日昇丸は、遥かペルシア湾アーバーダーン港へと旅立ち、イランより貴重な石油を日本の地にもたらすことに成功しました。そしてこの功績は、戦後復興期の日本において、エネルギーの大動脈・オイルロードであるホルムズ海峡を通じた中東からの資源輸送の重要性を周知のものとなりました。本講義では、大河内美香先生が、日本の生命線とも言うべき海峡の重要性、及び中東からのエネルギー資源調達背景と仕組みについてお話しします。

このコースで学べること

✓ ホルムズ海峡の地理的・戦略的重要性を理解する



✓ 国際海峡の法的地位と通航権について学ぶ



✓ 航行の安全を確保する国際的な仕組みを理解する



✓ 日本のエネルギー資源輸送の現状と課題を知る



✓ 日本の安全保障・外交政策との関わりを考える



✓ PDF教材（1ファイル）付き



おすすめの方

✓ 国際法・海洋法に興味のある方



✓ エネルギー・資源問題を学びたい方



✓ 国際情勢・中東情勢に関心のある方



✓ 法律・経済・政策を学ぶ学生・社会人



講師



大河内美香先生

- 東京海洋大学 学術研究院
海洋政策文化学部門 准教授
- 専門：国際法、海洋法、海事法
- 国際法、海洋法、海事法の研究に従事
- 国内外での講演・研究活動多数

コース情報



音声 (MP3)
3トラック



約60分
総時間



日本語
言語



PDF教材付き
(1ファイル)



オンデマンド配信
(視聴期限：3年間)



法律 / 経済
カテゴリ

